

ファイザー内部リーク：「胎児細胞実験の情報を漏らすな」

重役 E メール: 「我々の胎児の細胞実験情報が漏れないようにせよ」

Jamie White

October 7, 2021

<https://www.infowars.com/posts/pfizer-whistleblower-leaks-execs-emails-we-want-to-avoid-having-info-on-fetal-cells-out-there/>

⇒「私たちはできるだけ、胎児の細胞株のことは言わないようにしてきた。…人間の胎児の組織に遡るかもしれない起源をもつ、1つかそれ以上の細胞株が、ワクチンの問題に関連する実験室のテストで使われてきた」と、会社の E メールは語る。

あるファイザーのインサイダーが、Project Veritas に近づき、あるショッキングな内部 E メールを見せた。これは会社の重役がスタッフに対し、実験室で人間の胎児の組織を使い、会社の COVID ワクチンのテストをしたことを、伏せるように命令したものだ。

ファイザーの製造品質検査役 Melissa Strickler は、会社の内部 E メールを「プロジェクト・ヴェリタス」に示して見せ、ファイザーが、その COVID 注射の開発のために、胎児の組織が使われていることについて、情報を内密にする意図をもっていることを暴露した。

ある E メールでは、ファイザーの科学担当主任 Philip Dormitzer は、会社のワクチン計画には、妊娠中絶された胎児の組織が使われていることを認めたが、従業員たちには、その情報を第三者には明かさないように要請した。

(Eメールの写し)

「IVE 分析に用いられた HEK293T 細胞は、究極的には、中絶された胎児から得られたものだ」と、Dormitzer は言っている。しかし他方で、バチカンの教義委員会は、プロ・ライフの信者が免疫の治療を受けることは、許容されると認めている。ファイザーの公的声明はその答えに合致しており、外部の質問にはそう返答すべきだ、と言う。

同様に、ファイザーの Worldwide Research 監督の Vanessa Gelman も、スタッフに対し、会社のワクチン計画における人間の胎児の細胞については、話題を避けるように奨励している。

「会社の諸事情の観点から、胎児の細胞についての情報が、世間に出回ることは避けたいと思っている」と Gelman は E メールで言っている。

「現在、このことが取り沙汰されることの危険は、我々が考えることのできるどんな利益にも反するものだ。特に、一般大衆がこの情報を取り上げ、我々が知られることを望まないやり方で、それが用いられることは避けたい。我々は最近の数週間、この問題について、政策立案者や、メディアからの質問を受けていない。それで、できればこの問題が浮上することを避けたいのだ」と、彼女は言っている。

「私たちはできるだけ、胎児の細胞株のことは言わないようにしてきた。…人間の胎児の組織に遡るかもしれない起源をもつ、1 つかそれ以上の細胞株が、ワクチン問題につながる実験室テストで使われてきた」と、彼女はつけ加えている。

ストリッカー品質検査役は、Veritas プロジェクトに対し、中絶された胎児の組織が、アメリカ全土に頒布された、最終的な COVID ワクチンの製品に、入っているかどうかはわからないと言った。

「彼らの言葉は、E メールでも信用できないので、最終的なワクチンの中にあると考えてよいでしょう。彼らの言うことは信用できないのです」と、ストリッカーは言い、プロジェクト・ヴェリタスに話を聞いてもらうことが、彼女の唯一の手段に思えたと言った。

「私自身の会社が、私に本当のことを言おうとしなければ、誰を頼っていいのかわからないのです。私が勧められたことは、Project Veritas を信頼し、あなた方と一緒に、弁護士によって立法府に訴えることです」と、彼女は言った。

ビデオからわかる：Covid ワクチンは完全に逆の効果を起こしている

Kelen McBreen / Infowars

October 7, 2021

<https://www.infowars.com/posts/video-illustrates-how-covid-vaccines-have-totally-backfired/>

⇒多くの国で観察される Covid による死亡の急上昇は、Covid ワクチンの導入後に直結して起こっている。

ある聡明なイギリスの、[Joel Smalley](https://twitter.com/RealJoelSmalley) という量的データ・アナリストが、最近、あるビデオをアップロードして、ジョンズ・ホプキンス大学のデータに照明を当て、諸国家が Covid ワクチンを導入した直後に、Covid-19 の死者数が、狂気じみた急上昇を示すことを明らかにした。<https://twitter.com/RealJoelSmalley>

「ワクチン接種計画の前と後の COVID 死者数」(COVID Deaths Before and After Vaccination Programs) というタイトルで、その編集に示された図表は、何十もの国家で、驚くべきワクチン接種後の、Covid 死者数の急上昇を示している。・・・

オーストラリア議員が政府に噛みつく：「イベルメクチンの話も禁止か？」

Infowars.com
October 9, 2021

⇒「あなたはそこに立って国会の議論を禁ずるのか？——誰かが自分の意見を述べようとしただけで」と、Craig Kelly は言った。

あるオーストラリアの国会議員が、政府に食ってかかった。それは政府が8月に行われた討議の間に、彼がイベルメクチンのことを口に出したことで、発言を禁じようとしたからだった。

リベラルの New South Wales 出身議員 Craig Kelly は、「産業革新とオーストラリアの科学」に関する修正法案について、彼の意見を述べ始めた。

「最初に私は、誰でも、これについて記録をしている方々に注意を申し上げたい。私は、オーストラリア連邦議会で発言している。そして私のここでの発言は、議会議員特権法によって保護されており、それは1688年の、英国の権利章典にまで遡るものである」と、ケリーは言った。「私は、今から言おうとしていることに、発言の自由を持っている。それは

弾劾されたり、この議会の外で訊問されたりすべきではない。なぜなら、そうすることは我々の議会特権法に反するからである。

しかし議会は、ケリーがひとたび、イベルメクチンの研究を取り上げると、直ちに断絶され、その題目は「下院の前では問題の外にある」と主張された。

「冗談ではない」とケリーは反論した。「あなた方はまじめに私を馬鹿にするつもりか！」

「関連性の規則だけでも、この修正事項の言っていることを、はっきりと申し上げたい」と、ケリーは続けた。「〈…連立政府を非難するのは、それが、オーストラリアの産業と革新を支持することなく、パンデミックから生じていることに挑戦して対処しようとし、継続された怠慢に対してである〉…**これこそまさに、それが言っていることだ！**」

...

[訳者注]

オーストラリアの呆れるような警察暴力については、いろいろな情報を見聞きしてきた。その国会内部の話については初耳だった。政府が「イベルメクチン」を公然と禁止するというのは、堂々たる殺意の表明と言ってよい。人々がこれだけ苦しみ、必要のないワクチンを強いられ、Covidに百パーセント効く（といわれる）薬があるのに、「それだけは許さない」と言う政府は、どれほどの悪魔であろうか！

イベルメクチン (ivermectin) だけではない。ヒドロキシクロロキン (hydroxychloroquine)、次の記事にあるブデソニド (budesonide)、ブルガリアの女医の発見した効力100%（と言われる）コロナ治療薬、その他、松葉の煎じ薬など、多分いくらかでもあるのだろう。それらがすべて、バイデン-ファウチ権力によって禁止されている。その理由は我々が健康では困るからである。安価で副作用はないと言われ、たとえ多少はあっても、遺伝子治療“ワクチン”とは大違いなのだから、公然と流布されてよいはずである。それがそうならないのは、バイデン-ファウチがよほど恐ろしいからであろう。たぶん、わが国を始め、世界中の国家が、相当の脅迫を受けている——としか考えられない。脅迫の裏側に何がかるかは、誰でも知っている。

Covid の入院患者が Budesonide 治療で奇跡的に回復

この「ブデソニド」治療は、ビッグファーマがあなたに教えたくないものだ

Infowars.com

October 9, 2021

<https://www.infowars.com/posts/hospitalized-covid-patient-makes-miraculous-recovery-after-budesonide-treatment-big-pharma-does-not-want-you-to-see-this/>

⇒オクラホマのある人が、自分の医者たちを解雇した理由は、彼らが最初から、ジェネリックの安価な、抗心筋炎ドラッグを拒否したからだった。

Covid に罹って 16 日間、入院したある患者がビデオを作成し、いかに彼が、Dr. Richard Bartrett の勧めで、ブデソニド治療を受けたところ、速やかに回復したかを説明している。

鼻に酸素マスクをしたこの男性は、数週間、オクラホマのダンカン地区病院で、COVID の症状と格闘していたが、やがて、彼の治療方法が成功していないので、別の治療法を探し当てた。

「私は食事がほとんどできないほどの状態になっていました」と、彼は言った。「ここに 16 日間いて、悪化する一方だったのですが、私は、すばらしい友人のバートレット博士に巡り合うことができ、自分の状態を話しました。」

バートレット博士が、一つの治療法としてブデソニドを勧めると、男性は、彼の医師たちは、その安い抗心筋炎の薬は「効かないだろう」と言い、それによって彼を治療することを、最初から拒否しているのだと言った。

「私は〈下側 downside とは何ですか？〉と聞きました。すると彼は〈それは効かないということだ〉と答えました。

「私は言いました、〈それが唯一の downside なら、やってみましょうよ！〉」

2 日以内に 6 回の Budesonide 治療を行ったあと、私はすでに快方に向かっていた、と男性は話した。

「呼吸はできるし、歩くこともできる。前の日の朝、私は食事すらできなかったのです。きょうは声が出せるし、呼吸もできる。神様のおかげです。そして本当に有難うございませ、バートレット先生」と、彼は加えて言った。

リチャード・バートレット博士は、水曜日、アレックス・ジョーンズ・ショーに出演し、恐ろしい病院規定に挑戦して、命を救う治療を要求することが、どれほど重要であるかを説明した。

—以上